

中学校の再編整備に関わり検討する6つの視点と学校説明会での主な意見

※内容を一部要約しています。

1 生徒の 教育環境

- 新しい友達と関わることによって社会性を学んで欲しい。
- 子どもがさらに人間関係を広め成長できる環境を整えて欲しい。
- 多様な先生から指導を受けることは大切だと思う。
- 人間関係等の理由により他校へ転校したいケースもあるため、2校以上の統合が良い。
- ある程度の選択肢の中から部活動を選んで欲しい。
- 中学進学にあたり、部活動を理由に他校に流れてしまうことも検討に加味して欲しい。
- 人数が増えることで人間関係が広まる反面、人間関係のトラブル、ストレスを抱える人も出てくると思う。
- 機械的な統合ではユニークさ（個性）が失われる。
- 少人数の方が学力が上がるという研究結果がある。
- 部活動の地域移行についても検討を進めて欲しい。
- 小規模校も設置して、選択できるようにして欲しい。

2 学校の 教育指導

- 主要教科に複数の教員を配置できるメリットは大きい。
- 教員複数人で関わった方が組織的な力を発揮できる。また、小規模校で教科担任一人では限界があり、大規模校に比べ苦しみを抱える傾向にある。
- 統合により生徒数が増えたとしても、手厚い生徒支援ができるような教員配置にして欲しい。
- 統合ではなく、教師を増やして現状のままより生徒一人ひとりをケアできる体制を整えてはどうか。
- 生徒指導や保護者対応に本来の基準以上の教職員を配置する必要がある。

3 生徒の通学

- 統合はとても良いと思うが、通学の事を考えると心配である。
- バスなどの通学手段をしっかりと確保して欲しい。
- 部活動をやっている生徒もそうでない生徒も保護者の送迎なく対応できるよう通学バスを2便制にするなど工夫して欲しい。
- 効率よく安全に登下校ができる環境を整えば安心できる。
- 多くの生徒がバスで移動するというイメージが出来ず課題だと感じる。
- 通学距離が遠くなるのは生徒・保護者共に負担が大きいと思う。
- 冬場の危険な道などはバスでも安心できない。
- 通学距離、時間が増えることで各家庭の負担が大きくなるよう、また生徒の活動が制限されないよう努力して欲しい。

4 地域との 関わり

- 中学校は北杜市全体で捉えた教育であるべきだと思う。
- 地域とのつながりが無くなってしまふのは寂しく思うので、各地域について学ぶ時間の確保や各地域を回る行事等の工夫をして欲しい。
- 統合する中でも地域と交流できる開かれた学校という観点からも検討してほしい。
- 統合後の校舎や跡地を利用した地域が活性化するような策が示されれば安心である。
- 実際の立地（高低差等）を考慮して検討して欲しい。

中学校の再編整備に関わり検討する6つの視点と学校説明会での主な意見

※内容を一部要約しています。

5

学校施設 ・整備

- ・統合するのであれば、新築にして新しい場所に通うことになれば他地区に子どもを取られるというイメージが軽減されるのでは。
- ・新築の場合、体育館に冷房の導入やネット環境の充実を図れば、地域への説明の際にも先のことをしっかり考えているというアピールができるのではないかな。
- ・統合の際に、既存の校舎を改修して利用する場合は生徒にとって新鮮味がないが、新設にすると魅力ある学校になるかもしれない。魅力ある学校になれば、ネットやニュースで話題になり、移住者も増えるのではないかな。既存利用ではニュースバリューもなく他地区の人から見ても興味が湧かないと思う。
- ・一学年3～4学級であれば今ある校舎を利用して対応できそう。

6

移住 される方

- ・子育て世代の移住希望者にとって、子どもの教育環境は最大の関心事である。市外に広くアピールできるような魅力的な学校づくりができれば、移住者も増え、生徒数の維持・増加につながるのではないかな。
- ・少人数の学校に魅力を感じた移住者も多い。
- ・中学校が無くなった地域の衰退（移住者の減少等）が懸念される。
- ・移住した理由は近くに学校があるからであり、中学校を統合することで移住者が激減する可能性がある。

その他

- ・早期決断を求める。
- ・卒業した子どもたちの意見も反映できるようにしてほしい。
- ・地域の方々の意見に耳をきちんと傾けるべき。
- ・突然統合が決定されたとならないように保育園等広く周知してほしい。
- ・子育てをするにあたり、住む地域に保育所、学校があることが望ましい。
- ・市長の政策の子どもの数が2倍になったことを想定して考えるべき。
- ・ハード面だけでなく、ソフト面でも思い切った改革を求める。
- ・教育者だけでなく地域住民にオープンにして議論すべき。